

まこえとことば通信

令和5年10月号
小金井第二小学校
こだま学級
Tel.042-385-3327

10月に入り、過ごしやすい季節になりました。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋などと言われますが、皆さんはどんな秋を楽しんでいますか？一人一人実りのある秋にしていきたいですね。秋の運動会も無事に開催され、やりきった達成感を話す子や、かけっこで負けて悔しそうにする子など、一生懸命に頑張った姿があちらこちらから伝わってきました。気持ちや思いを表現したり、友達と力を合わせたり、自分の役割を果たしたりする経験を重ね、成長の機会にしてほしいです。こだま学級でも、練習や本番への取り組みについて話題にし、一緒に喜んだり、悔しがったり、子供たちの気持ちに寄り添う時間を大切にしたいと思います。

保護者会へのご参加 ありがとうございました！

10月19日(木)に、第2回保護者会を開催いたしました。二小にて図書館司書をしていただいていた和申恵子先生に「本を楽しむ、本で遊ぼう～豊かな心と言葉をはぐくむために～」というテーマでご講演いただきました。豊かな心を育むために、家庭でできる絵本の楽しみ方について、分かりやすく教えていただきました。この読書の秋に、たくさんの本や絵本との新しい出会いがあるといいですね。

全体グループ学習について

○日時：12月6日(水)
15:15～16:30
(受付 15:00～)

○場所：二小体育館(予定)

2学期は、グループの子供たちで協力して取り組む仮装大会や、全員で体を動かすゲームなどを実施する予定です。

全体グループ学習は、こだま学級に通っている子供たち同士が交流できる、数少ない機会です。友達と相談したり、協力したりしながら楽しく活動しましょう。

☆ご参加をお待ちしております☆

～ 11・12月の予定 ～

11月	3日(金)	文化の日
	10・11日(金・土)	二小展覧会
	13日(月)	二小振替休業日 ※通級なし
	23日(木)	勤労感謝の日
	29日(水)	入級委員会 ※午前通級なし

12月	5日(火)	2学期 個別指導終了
	6日(水)	全体グループ学習 15:15～16:30
	11日(月)	まこえグループ学習 15:15～16:30
	13日(水)	吃音グループ学習 15:15～16:30



※感染症等の状況によって、予定が変更になる場合があります。また、このほかに、出張等で通級がお休みになることがあります。各担当と通級日時をご確認ください。

❖ 発音の誤り

こだま学級には「正しく発音できない音がある」という心配で通級しているお子さんがいます。「さかな」が「たかな」「しゃかな」「ちゃかな」、「かめ」が「ため」など、他の音に置き換わっていたり、「チーズ」の「チ」がはっきり置き換わっているわけではないけれど「キ」に近いこすれたような音に歪んでいたり、「たいこ」の「た」が「か」に近いようなこもった音に歪んでいたり、誤り方は人それぞれです。

こだま学級では、どの音がどの音に誤っているのか、正しく言えることもあるのか、音の聞き分けはできているのか、口や舌の形や動きはどうかなどを観察します。そして、練習が必要かどうか、どの音からどんな方法で練習していくのがいいかを検討して、指導を行っています。

❖ 正しい発音を身に付けるために、ご家庭でできること

ゆったりとした雰囲気の中で楽しいコミュニケーションを

子供は、生まれたときから身近な人の発音を聞きながら、その発音を学び取っていきます。ゆったりと楽しい雰囲気の中で話しかけられ、心地よい気持ちで聞くほうが、この人の話を聞きたい、同じように話したいという気持ちが育ちます。また、共感的に話を聞いてもらえたことで、もっと話したいと思う気持ちや、正しい音を聞く耳が育っていきます。「たてっと一番だったよ!」と言われたら、「そうかけっこ一番、嬉しいね。頑張ったね」と、お子さんが伝えたかった思いを受け止め、正しい発音で返してあげてください。

口や舌の動きを高める

① よく噛んで食べる習慣を育てる。

発音するときに使う口は、物を食べるための器官でもあります。食べるときに、唇や舌、あごを動かすことで、筋肉を鍛え、あごの骨や動きの巧みさが育ちます。しかし、柔らかい食べ物だけをよく噛まずに食べていたのでは、これらが育ちません。また、形や大きさがちょうどよいあごの骨が育つためにも、しっかり噛むことは大切です。日頃から、よく噛むことを意識させたり、あえてよく噛まなければ食べられない料理をメニューに加えたりしてみましょう。「よく噛むと、ご飯が甘くなったね」と一緒に発見したり、生野菜をスティック状にして出したりするのもいいですね。麺類を上手にすすって食べることもできますか？

② おやつを利用して

- ・よく噛む・・・ガム、せんべい、するめ（口を閉じてしっかり噛みましょう）
- ・舌や唇を使う・・・ペロペロキャンディー、アイスキャンディー、ソフトクリーム
あめ玉を最後まで噛まずにぬめる。
たまごボーロを舌先で上の歯の裏に押し付けてつぶす。
いろいろな形があるお菓子を口の中に見ずに入れ、舌で触って形を当てる。
スティック状のお菓子を口にくわえて手を使わずに食べる。
ソースせんべいに舌で穴を開ける。
舌をお皿のように平らにして、小さなお菓子を載せ、落とさないようにキープ。
- ・息と舌や唇を使う・・・笛ラムネ、風船ガム、熱いものを吹いて冷ます。
- ・吸う力・・・いろいろな太さのストローで飲む。



③ 遊びを工夫して

- ・息遊び・・・口笛、笛（リコーダー、ホイッスル、巻き笛など）、吹き上げ玉、ふきゴマ、シャボン玉（強く吹いて小さいのをたくさん、ゆっくり吹いて大きく）、風船
ブクブク：コップに少量の水を入れてストローでブクブク。強く吹いて大きな泡を作ったり、静かに長く吹く競争をしたり。小さく切った紙でもおもしろいです。
魚釣り：魚の形に切った折り紙をストローで吸い上げる。秋は栗拾いもいいですね。
ピンポン玉転がし：玉に息を吹きかけて転がす。テーブルの端から落ちたほうが負け。
- ・顔じゃんけん：口を大きく開けてパー、唇を突き出してチョキ、口に息をたくさんためてグーなど。オリジナルのじゃんけんを考えてもおもしろいですね。



これらを、ご家庭で楽しみながら行ってみてください。ガラガラうがいは感染症予防だけでなく、舌の動きを高めることにもつながります。

<参考文献> 「正しい発音が育つための口育て・口遊び」全国ことばを育む会